

GLOBAL LEADERSHIP PROGRAM 2017

グローバル・リーダーシップ・プログラム（立教 GLP）
2017 年度プログラム案内

リーダーシップとはなにか？

リーダーシップは、

権限やカリスマ性を持った特別な人だけが

発揮できるものではありません。

メンバーそれぞれが自分のチカラを信じ、

ヴィジョンを掲げて周囲を巻き込み、

ゴール達成に向かって行動する。

グローバル・リーダーシップ・プログラムでは、

それぞれがチームの目標達成に向けて

貢献できる人を育てています。

リーダーシップを発揮し、
日本の文化を後世に繋ぎたい

母語の範囲だけでなく多様な環境下でも発揮できるリーダーシップを身につけ、常に前に向かって行動する力を強みとして、将来は日本の文化をより広く深く海外へ発信していきたい。

文学部 史学科 超域文化学専修 3年
甲原 弘菜

将来は教師として、
子供たちが社会を生き抜くための支援をしたい

自分の行動が他人のモチベーションに大きく影響することがわかりました。行動一つ一つを変えていくことでチームの大きな成果に繋がるイメージが持てました。

社会学部 社会学科 2年
岩田 恵理子



発想や視点を広く持つことがとても大切
物事の本当の姿を見る力を養うことができた

視野を広く持ち他人の考えを認めチームの状態を観察することが、問題発見に繋がり、また解決案にも繋がる。自分やチームが力を発揮できるようになり、学部での実験も円滑に行えるようになった。

理学部 生命理学科 3年
根岸 舜介

人の将来に携わる仕事がしたい
「他者」との関係性や成長を大切にしていきたい

チームの成果のためには、メンバーに本当の力を発揮してもらうことが必要で、それもリーダーシップの一つだと思う。他者へ働きかけ、良い影響を与えることができるようになりたい。

法学部 政治学科 2年
飯村 亘

グローバルに活躍するために 英語と同等に重要なリーダーシップを スキルとして身につける

いま求められるリーダーシップ

グローバル化が進む中でこれから私たちの前に現れるのは、これまでに解決することができなかった非常に複雑な課題です。こうした課題を解決するには、役職と権限を持ったリーダーが引っ張り主導するだけでは足りません。

求められるのは、権限や役職にとらわれず、関わる人それぞれが解決に向けて自らの力を発揮できることです。

グローバル・リーダーシップ・プログラム（立教 GLP）では、独自のリーダーシップ3要素を軸として、受講生それぞれが自分なりのリーダーシップに気づく初歩段階から、異文化環境でも効果的に発揮できるようになる最終段階まで、順を追ってリーダーシップをスキルとして身につけることができます。



アクティブな学習スタイル

机上で理論を知ってもリーダーシップを発揮することはできません。プログラムでは、初歩的なリーダーシップ理論を入り口として、そのほとんどが少人数のグループに分かれて討議やプロジェクトに取り組む参加型の授業が展開されます。

授業内外でグループワークに取り組む中でリーダーシップの発揮を試み、有効性を確かめ、自らの能力として身につけていきます。

立教大学のリーダーシップ3要素

- 1. 目標共有**
チームの目標を設定して共有する。
一度共有すれば良いものではなく、チームとして目標を意識し続けるよう働きかける。
- 2. 率先垂範**
目標に向けて自ら動く。
メンバーに指示をしたり仕事を割り振ったりするのではなく、自ら行動を起こしチームに影響を与える。
- 3. 同僚支援**
メンバーが行動しやすいように支援をする。
壁や障害を取り除いてあげ、チームとして最大の力を発揮できるように環境を整備する。

ここも ポイント

最低限の英語を前提に、多様な環境でリーダーシップを発揮する

語学を身につけるだけではグローバルに活躍することはできません。もちろん英語が最低限度話せることは必要ですが、英語を話せる外国人が全員グローバルに活躍できると言えるか、と問われれば言わんとすることがわかるでしょう。

立教 GLP は、“多様性”への対応力を重視します。学生は、学年の違う他学部生

とプロジェクトやスキル修得に取り組む GL101/201 に始まり、外国人と一緒に学ぶ GL202、異文化環境に身をおく GL301/302、と段階的に“多様性”に触れながら、いつでも、どこでも、誰に対してでも、発揮できるよう自らのリーダーシップの適応力を高めていくことができます。

効果的にリーダーシップを身につけるための仕組み

- 様々な学部や学年の学生が集まる“多様性”のあるプログラム
- 順を追ってリーダーシップを修得できる“積み上げ式プログラム”
- 日本語でリーダーシップを修得し、上位科目は“英語”でチャレンジ
- 少人数クラスで教員と SA が“きめ細かい支援”で成長をサポート
- グループワークが中心の“実践的授業”
- 空想ではない、企業等から提示される“リアルな課題”に挑戦

リーダーシップをスキルとして身につける方法

グローバル・リーダーシップ・プログラムの各科目では、実践と振り返りを交互に行いリーダーシップをスキルとして身につけます。具体的に、入門科目となる GL101 では以下のように 14 週間の授業が進みます。

Week 1



リーダーシップ持論を考える
自分の考えるリーダーシップ像を定義し、具体的な行動をイメージする。

Week 2-11



プロジェクトでグループワーク
企業から与えられた課題解決プロジェクトに取り組み、グループワークの中で、自身が定義したリーダーシップを実際に発揮してみる。

Week 13-14



リーダーシップの振り返り
自分の行動が、チームの成果にどう貢献したか振り返る。グループのメンバーからのコメント（良かった点・改善点）を題材に、より良く具体的なリーダーシップ持論を作成する。

Week 12



成果発表
チームで考えた課題解決プロジェクトの解決案をコンテスト方式で発表し競い合う。

GL302

Effective and Responsible Leadership in a Changing World

権限を得たときのリーダーとしての振る舞いを討議を通して身につけていきます。具体的には映画などの題材を使いながら、倫理、困難な場面での決断、多様性への対応、などをリーダーの視点から具体的に議論します。海外大学から講師を迎え、2月に短期集中で実施されます。

GL301

Practical Training as a Leader

これまで身につけてきたリーダーシップを海外での活動の中で実際に発揮してみます。具体的には、夏季休暇期間にハワイ大学が提供するプログラムに参加し、現地コミュニティで現地の人々と一緒に活動を行い、自身のリーダーシップの発揮を試みます。これまでの科目の集大成となります。



※GL301、GL302 はどちらを先に履修しても良い

GL202

Leadership Development through Action Learning

GL201 で身につけた質問力を英語でも使えるように訓練します。長々と英語で話す必要はなく、シンプルで強力な質問を身につけ、英語環境でグループワークやプロジェクトをする際にも自分なりの貢献ができるようになります。具体的には、留学生と一緒にアクションラーニングなどの手法を用いて、質問のあらゆる効果を知り使えるようにトレーニングを行い、ミニプロジェクトを実行します。

GL201

アクションラーニング、コーチング等によるリーダーシップ開発

リーダーシップの発揮に役立つ質問力を身につけます。知らない人や上司に対して意見したり外国人を英語で説得するのは難しいですが、そこで役立つのが質問力です。GL201 では、アクションラーニングやコーチングという手法を用いて、質問力を訓練し、リーダーシップの発揮に役立ちます。

GL101

プロジェクト型学習によるリーダーシップ入門

様々なリーダーシップの存在に気がつき、自分なりのリーダーシップを知るとともに、その多様な発揮の方法を身につけます。具体的には、企業から出題されるプロジェクト課題に少人数のグループで取り組み、その中でメンバー全員がリーダーシップの発揮を試みます。学期の終わりに振り返りを行い、自分なりのリーダーシップの発揮方法を見つけます。

2017 年度 新規開講科目

2017 年度より新たに 2 つの科目が開講！

102 日本語

GL102

他者のリーダーシップ開発

チームのメンバーのリーダーシップを開発することもリーダーシップの一つです。具体的には、学習理論などの知識を修得しながら、実践形式でリーダーシップ開発プログラムの策定などのグループワークを行います。サークル活動やスポーツチーム、ゼミなど身近な場面でチームの強化を図る際に役立つスキルを身につけることができます。

111 English

GL111

Introduction to Leadership

日本語で提供される GL101 の英語版。GL101 とほぼ同内容を全て英語で実施します。英語のみで修了するグローバル・リベラルアーツ・プログラム (GLAP) の学生と留学生と一緒に、企業等から与えられた課題に取り組み、自分なりのリーダーシップとその発揮方法を身につけます。

先輩たちの履修モデル

まずは GL101 を受講

以降は自分のペースに合わせて履修可能

履修 モデル 1

文学部 史学科 日本史専修 3 年 伊藤有寿さんの場合

中学・高校時代に生徒会副会長や学級委員を務めた経験からリーダーシップについて興味がありました。友人に誘われた説明会で初めて立教 GLP の存在を知り、「私が大学で学びたいことはこれだ!」と思い、GL101 への応募を決意しました。GL101 がとても楽しく、学ぶことが多かったため、そのまま GL201 も履修しました。2 年生の春学期は他活動と英語の勉強に集中し、2 年生の秋学期に GL202 を履修しました。GL301 と GL302 は単位上限の関係で履修が難しいので、学んだことは今後の SA としての活動や就活に活かしていきたいです。



経営学部 国際経営学科 4 年 坂巻宏柄さんの場合

履修 モデル 2

経営学部生は BLO (GL101 と同等) を専門科目として修得するので立教 GLP へは GL201 からの参加です。私は、「様々な学部の人とプロジェクトをする」という GL201 の内容に興味を持ち履修を決意しました。が、残念ながら GL201 で力を出し切れず、更なる成長を求めて GL202 に応募し、2 月集中の GL302 は自分にとって立教 GLP の最終科目という意識で参加しました。GL202 で議論のスピードの速さを体感し、GL302 でリーダーシップのあり方を話し合ったことを通じて「いかにチームを前に進ませるか」について自分なりの答えを出せました。GL301 は未履修ですが、英語開講科目のグループワークや普段の生活で、自分のリーダーシップをどんどん試していこうと考えています。



履修 モデル Q&A

Q. 単位はもらえるの？

A. 原則、全学共通科目 / 全学共通カリキュラム科目として単位を修得できます。但し、学部毎の単位取得ルールに拠りますので、不明な場合は教務事務センター (池袋・新座) へご相談ください。

Q. 誰でも履修できるの？

A. 原則として所属学部に関わらず履修できます。但し、GL101 のみ経営学部生は履修することができません。

Q. GL202 から履修したいができますか？

A. できません。積み上げ式プログラムなので GL101 (もしくは GL111) から順番に履修する必要があります。

Q. 1 年生からしか始められない？

A. いえ、2,3,4 年生でもプログラムに参加することが可能です。しかしリーダーシップは若年の方が身につけやすいので 1 年次からの受講をおすすめします。

Q. 2 年生に留学を考えているのですが、帰国後にもプログラム継続はできますか？

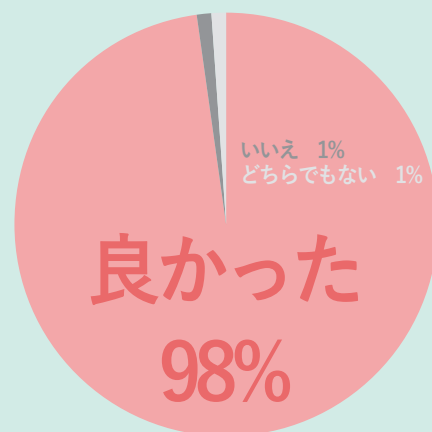
A. 1 年次に GL101,201 を履修し、留学後の 3 年次に GL202 を履修される方も多くいらっしゃいます。語学力や他活動との折り合いを見ながら、時期を空けての履修も可能です。

2016 年度受講生から聞いた
壁を乗り越えたからこそ得られる成長と満足

受講生アンケート

(回答者数：92 名)

Q1. 立教 GLP を受講して良かった？



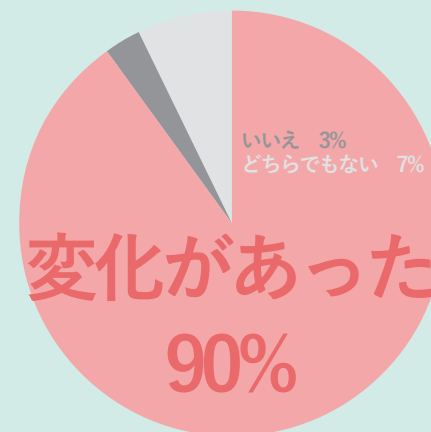
人と協力して、何かを成し遂げることに満足できた。また、授業前は、“多様性”という言葉すら聞いたことがなかったが、授業を通じて役立つ専門知識をつけることができた。

社会学部 メディア社会学科 2 年 長谷川 理恵

実際に企業の方とも関わりながらプロジェクト課題に対する提案を練ったことはとても貴重な経験になったし、今まで漠然と考えていたリーダーシップについて実際に行動しながら考えることが出来たのもすごく良い経験になりました。

法学部 国際ビジネス法学科 2 年 馬場 理彩子

Q3. 履修前後でリーダーシップに変化はありましたか？



グループワーク中にリーダーシップを発揮する時、チームを引っ張るだけでなく、メンバー全員を巻き込むことが重要であることを学びました。立教 GLP では、メンバーからのフィードバックを通して、自分の行動とそれがチームに与えた影響を振り返る機会があり、自分の見えない自分を教えてもらうことで、効果的にリーダーシップを発揮できるようになりました。

法学部 政治学科 2 年 兼古 春奈

受講前は、率先垂範だけがリーダーシップだと思っていたが、チームメンバーからの指摘や助言を聞いて、メンバーを支援するのもリーダーシップと気づけ、自分のリーダーシップというものが更に明確になった。

現代心理学部 心理学科 2 年 大野 浩美

Q2. 立教 GLP を通して成長しましたか？

自分がチームに対してできること、また、チーム内で自分が活かせる強みを知ることで、自信がついた。

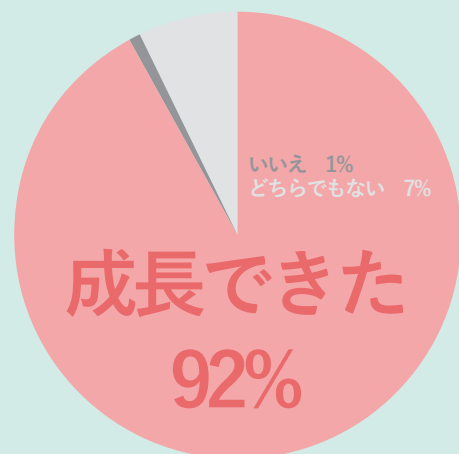
法学部 法学科 3 年 佐藤 清菜

自分とは違う様々な性格や考えを持つ人と仕事をすることで、どのような振る舞いをすれば良いかを学ぶことができ、成長できた。

観光学部 交流文化学科 2 年 田中 華

少人数で参加型の授業なので、皆の前で話す機会が多くあり、話す力が向上した。また、クラスメイトは様々な特徴や背景を持っているので未知の世界を知ることができ、視野が広がった。

経済学部 会計ファイナンス学科 2 年 渡邊 大介



Q4. 履修中にどんな壁にぶつかりましたか？

チーム内でグループワークに対する熱意の差があったが、忙しいメンバーにも何らかの手段を使って必ず情報共有をすることによって解決できた。他人をやる気にするには、まず自分がやる気を出すことが大切だと学ぶことが出来た。

経済学部 経済政策学科 2 年 弘山 葵衣

チーム内で役割を振り分けたが、時間と役割の調整が難しかった。期日前にコツコツやること、そしてやることに優先順位をつけることで乗り越えられた。自分で時間をつくり出すことの大切さを学んだ。

社会学部 メディア社会学科 3 年 小杉 美穂

チームワーク 52%

課題解決 28%

専門知識の理解 13%

プレゼンテーション 5%

壁はなかった 2%

文学部 文学科 英米文学専修 2 年 **高本 真子** さんに聞いた

受講生の 1 週間

様々な「人」と関わっていくことで学ぶ
立教 GLP は“成長”できる環境

学部が違う仲間と集まる時点から
リーダーシップが求められる



チームが割り振られた後は、授業時間外でチームごとに活動します。ミーティングの方法（大学で集まる？ SNS でやる？）やその頻度は自分たちで自由に決めます。例えば、週に一回必ず全員で昼休みに集まるとか、LINE 電話会議を早朝に行うなど、チームによって様々です。

但し、学年・学部・部活・サークルなどが違うので全員集まることは難しく、私のチームの場合は全く集まらない週や追い込まれて毎日活動する週もありました。目標に向かって段取りを組みメンバーに行動を仕掛けて行く時点からリーダーシップ発揮のチャンスです。

課題は正直しんどい
自分の壁を超え、限界に挑戦する

週によって課題はかなり多いです。私も覚悟して履修してみたものの、他の授業の勉強と並行して立教 GLP の課題をこなすのはかなりしんどくて、中には徹夜する日もありました。

ただ、成長の機会でもあります。第1にタイピング。元々パソコンは苦手でしたが宿題をやるうちに克服しました。第2に文章作成能力。どんなに内容が良くても表現できな

いと良い評価はもらえません。「伝えること」を大切に課題に取り組んだおかげで、自分の考えていることを文章で表現できるようになりました。最後に Word、Excel、Power Point の技術。大学だけでなく社会に出るのにも必須の能力で、課題に取り組む中で身につきました。

壁があるからこそやりがいも大きい

私は入学時に「大学生になるからには貪欲に学ぼう」と決意しました。何を言おうとも、自分の自由に使える時間はこの4年間で最後だと思ったからです。初めての履修登録で、とにかく内容が濃く自分が成長できる授業を探していたところ、立教 GLP を見つけて応募し履修することができました。

GL101 と GL201 を履修しましたが、数えきれないほどの困難の壁にぶつかりました。大学生活での私の悩みのほとんどが立教 GLP に関わることでした（笑）。

物事が上手く行かない理由は真剣に「人」と向き合っているからなのではないかと思います。グループで一つの目標に向かって行動し、壁の前で考えあがき、自分やメンバーと対話しながら乗り越えていく経験は、講義形式の授業では得られません。もっと自分に自信をつけたい、大学生活にハリが欲しい、リーダーシップを磨きたい…。どんな理由からでも良いと思います。最後までやり通す覚悟さえあれば参加しているだけでも非常に学ぶことの多い授業です。興味を持ったなら、迷わず応募してください。きっと半年後には受講して良かったと思う自分がいます！



とある私の1週間

授業での発表やレポートに備え、チームで対策を練ったり、前年度の受講生の方を見つけて協力を依頼し、プレゼンテーションのアドバイスをもらったりした。

私の場合、月 & 火に比較的オモい授業が集中していた。チームメンバーもそれぞれのスケジュールがあり、集まることのできないメンバーへは議事録を作成し情報共有した。

GL101・・・GL101の授業（火曜日5限）							
・・・GL101の授業外チーム活動など							
・・・その他の授業やアルバイトなど							
	月	火	水	木	金	土	日
1限 9:00~10:30	グループワーク	英語	フランス文学文化概論	心理学	入門講義	宿題	アルバイト
2限 10:45~12:15	英語	情報処理	英語			宿題	アルバイト
昼休み 12:15~13:15	グループワーク				グループワーク		アルバイト
3限 13:15~14:45		入門講義			中国語	学外セミナー	アルバイト
4限 15:00~16:30		中国語			ラテン語	学外セミナー	アルバイト
5限 16:40~18:10	Global Issue 各論	GL101			芸術への扉		
6限 18:10~	英米文学概論	グループワーク				宿題	

授業後は、チームメンバーが揃いやすい。場合によっては、課題に向けての作業洗い出しや作業の割り振りを、大学やファミレスなどで行い、次の週末での計画を立てたりした。

私たちのチームでは、基本的に毎日 LINE で連絡を取り合っていた。メンバーから相談があったり、それぞれの担当作業の進み具合を確認したり、励ましあったりした。

作成したものは Google ドライブを活用して共有していた。そこに情報を集約することで、メンバーはいつでも資料を参照しながら作業できるような環境を作っていた。

私は日曜日がバイト、土曜日は学外での勉強会に参加することもあったので、土日に作業が必要な場合はチームメンバーに任せ、その代わり平日にその準備を率先する時もありました。

受講生が主役の立教 GLP
優秀な教員と学生で成長を支援

教員と SA からのメッセージ



リーダーシップ行動の積み重ねで、
君の4年間のワクワク感は間違いなく変わります！

稲垣 憲治 経営学部 特任准教授
GL101 教員、GL201 コースリーダー

国内外の企業人事マネージャとしてリーダーシップ開発や社員教育改革に取り組む。2010 年よりグローバル人材育成コンサルタント・研修講師として独立。同年 9 月より経営学部 BLP 科目を担当し、現在、GL101 のクラスも担当しながら、GL201 のコースリーダーとして科目の開発をおこなっている。

立教大学に入学おめでとう！

入学のお祝いに、いいことを教えてあげたいと思います。ズバリ、「これからの人生を更に有意義にするためのファーストステップとは」。

それは、できるだけ早いタイミングで立教 GLP を受講することです！

君がこの大学に入学することを選択したのには様々な理由があると思います。その中の一つに「自分なりのリーダーシップを身につけられるから」というのはありますか？

立教 GLP は、自分なりのリーダーシップを身につけ、主体性を持って人生をより良いものに作り変えていく

ためのファーストステップとなるプログラムです。

具体的には、立教 GLP で自分のリーダーシップ・スタイルを発見し発揮し発展させます。そして、身についたリーダーシップを日々の生活の場で実践します。この小さな行動の変化の積み重ねを続けることで、君の4年間のワクワク感は間違いなく変わります。

更に、この積み重ねの 4 年間は、就活や社会人生活だけでなく君の人生自体にも役に立ちます。

できるだけ早いうちにリーダーシップのトレーニングを始めましょう！

それが君の人生を更に輝かせる第一歩です。

君からの申し込み待っています！！



目標は、受講生のリーダーシップ育成。
教員と SA をどんどん利用してください！

石川 真衣 社会学部 現代文化学科 3 年
2017 年度春学期 GL101-SA

2 年生の時に GL101 と GL201 を続けて履修。自身も学生のリーダーシップ教育に加わり学生を支援したいとの想いから Student Assistant(SA) に応募し、2017 年度春学期 GL101 の SA として採用される。女子ラクロス部マネージャーでもあり、自身もリーダーシップの発揮に挑戦している。

ご入学おめでとうございます！

皆さんは立教 GLP にどのようなイメージを持っていますか？

GL101 では企業から与えられた課題に沿ってグループごとにプロジェクトを進めていきます。

楽しそう！と思う反面、多くの課題や授業外のグループワーク、さらにチームがうまくいかない時の焦りなど、大変なことが多いイメージかもしれません。

大変な状況こそ、成長のチャンス。
私は身をもって立教 GLP で体験しました。
そんな私が皆さんにお伝えしたいのは、立教 GLP は「受

講生目線」の授業であることです。

どういうことかと言うと、受講生は立教 GLP の主人公であり、受講生の成長のためであれば教員や SA は利用し放題！ということです。例えば過去には行き詰まった時ミーティングに SA を呼んでアドバイスをもらったり、SA の持っている人脈をフル活用したり、周りには言えないことを相談したりなどの例があります。使い方は皆さんの自由です。受講生目線で考えられているからこそ、サポート体制も整っています。

立教 GLP で私達と一緒に成長しませんか？

みなさんとお会いできるのを楽しみにしています！

立教 GLP 科目の 履修を希望される方へ

注意点

1. 立教 GLPの科目を履修する為には、通常の履修登録システムではなく、別途**履修申し込みをする必要**があります。
2. 具体的な申し込み方法は**2017年度履修要項に記載**してあります。必ず目を通して履修申し込みをしてください。
3. 全学共通科目の単位履修上限を超えると履修できません。**全学共通科目の登録単位数にご注意**ください。
4. 申し込みをする立教 GLP科目と**同じ曜日時に他授業を登録しない**でください。履修登録システム上で同じ曜日時に他の科目を登録すると、そちらが優先されてしまいます。

春学期 GL101 の 履修登録方法

<申し込み方法>

立教 V-campus Blackboard(<http://spirit.rikkyo.ac.jp/blackboard/>)にログインし、年度別コース一覧の「その他」より「GL101(履修申請用)」をクリックの上、そこに設定された設問に対応すること。

<申請期間>

4月3日(月) 10:00～4月6日(木) 18:00

<選考結果>

選考の結果、履修を許可された者は、4月10日(月) 18:00より履修登録状況画面及び履修登録システムに「GL101」の情報が表示され、登録確認が可能。

説明会の お知らせ

グローバル教育センター提供プログラム履修ガイダンスにて本プログラムの説明をするので、履修を希望する学生はできる限り参加すること。

■経済学部・理学部・社会学部・法学部・経営学部・異文化コミュニケーション学部
4月4日(火) 13:00～14:30 @池袋キャンパス 9号館 大教室

■文学部・グローバル・リベラルアーツ・プログラム
4月5日(水) 11:00～12:30 @池袋キャンパス 8号館 8201教室

■観光学部・コミュニティ福祉学部・現代心理学部
4月5日(水) 11:00～12:30 @新座キャンパス 8号館 N8B1教室

奨学金に ついて

立教 GLPでは、海外学修科目 GL301のための独自の奨学金制度を設けており、他の奨学金と併給可能です。支給対象や申請方法など詳しくは下記のグローバル教育センター担当までお問い合わせください。

2017 年度 開講科目

学期	科目	場所	曜日・時限 (日程)	クラス 数	申請時期・方法
春学期	GL101	池袋	火・5	8	春学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)
	GL201	池袋	火・3	2	春学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)
	GL202	池袋	火・4	1	3月後半・その他登録 (教務事務センターへ申請書等提出)
秋学期	GL101	新座	火・1・5	2	秋学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)
	GL201	池袋	火・3	3	秋学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)
	GL202	池袋	火・4	1	秋学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)
	GL102	池袋	水・6	1	秋学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)
	GL111	池袋	火・5	2	秋学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)
*	GL301	ハワイ	8/29～9/7	1	6月中～下旬・その他登録 (グローバル教育センターへ申請書等提出)
	GL302	池袋	2/5～2/10	1	秋学期・その他登録 (Blackboard経由で申請)

* 便宜上、GL301及び GL302は秋学期科目として登録されます。学期ごとの履修上限などにご注意ください。

問い合わせ

立教大学 グローバル教育センター(マキムホール2F)
電話: 03-3985-4876
Email: glp-info@rikkyo.ac.jp